



男体

第30号
平成16年1月1日発行

謹んで新春のお慶びを申し上げますと共に、以下の年頭所感をもちまして年頭の御挨拶に代えさせていただきます。

理事長 森山 一政

年頭所感 **スカウティング そんなに急いでどこへ行く？**



川は水の流れに沿って自然に形づくられ、そこにたくさんの恵みをもたらし、豊かな営みを生んできた。反面、一度荒れると大きな被害をもたらし、流れも変えてしまう性格も持っている。それらの理由から、そこにダムやコンクリートの護岸を作り、流れを管理しようとする意図が働く。しかし、必ずしも真つすぐに流れる川がいいとは限らない。

スカウティングの流れも、河川管理と同じようにコンクリート護岸を作り、流れを良くして早く海(?)まで行こうとしているように思える。そんなに速い流れでは、途中で上陸して一休みしたり、これから乗ろうとしても戸惑ってしまう。川は蛇行していて、ところどころにゆったりした流れがあるほうが、私はひかれる。そんな川にはたくさんの生き物が生活しているのだから……。

班制度は、水の流れの中の大きささまざまな石のように、ぶつかりあいながら多くの経験をし、その中から新たな発見をして、それらをもとに班のために役立て、自己の存在を確かめながら人とのつながりを学ぶ。また、進歩制度では、個々の能力に応じて五感を鍛え、観察と推理の力を身に付け、思いやりの心を育む。スカウティングは、これらをビーバーから一貫した流れでゆっくり続けられ、「おかげさま」がみえる目、「ありがとう」が心から思えるようにできている。リーダーは班を軽く見たり、ただバッジを取ればOKではなく、これらが自然に身に付くように支援するために存在しているのである。B-Pの最後のメッセージの社会に有用な人間=幸福感である。

自然の教場で悠久に流れる時間と無限に広がる空間を感じとり、たくさんの仲間とともに日々進歩していくスカウティングは、本来ゆっくりとしたものである。スローライフで時には川から降りて、みちくさをしながら行きませんか。

栃木県連盟の16年度は、地区、団が自分たちで何かをしようとすることに対して支援したいと考えています。

2004. 1. 1. 朝
水道山の自宅(ベランダ)にて



目次	
野営章考査員養成講習会	2
南部地区スカウトラリー	3
団担当コミッショナー説明会	4
6 NV 県内基地情報	4
南部地区指導者講習会	4
団 G-man	5

技能章(野営章) 考査員講習会

11月15日～16日にて、烏山の県連野営場で開催されました。県内各団より、14名の参加者、3名のスタッフにて天候にも恵まれ夜は満天の星空を仰ぎ有意義な二日間でした。

一日目は キャンプ地選定の基本条件、理想的なキャンプサイト、代表的なテントの種類・特徴・用途を 学習と実習で学んだ初日でしたが、この辺の学習内容は、普段直接スカウトを指導されている参加者の方々ですが、それでも改めて知る知識や技術が有り貴重な一日だったようです。

今回初めて顔を合わせた参加者の方もいらしたにも係らず、さすがスカウト仲間。夕食後はみんなで盛り上がり、烏山野営場恒例の？温泉ツアーの裏プログラムも有ったようです。

秋の烏山CCCの夜空はすばらしく、空とはこんなにも広がったかと改めて知る最高の夜空でした。あの満天の星はきっと我々指導者への天よりの贈り物だと参加者全員感謝し、翌日は班テントの張り方の実習、キャンプの衛生、夜の明かりのとり方、を行い、今回特に最近は見ることの少なくなった家型テントを使用し張り方は勿論、色々な天候条件に応じた綱の張り方、乾燥の仕方など実習して頂きました。初めてこのタイプのテントを張る方もいましたが、自ら体験することにより学ぶ事も多かったのではないのでしょうか？

今後もプログラム委員会ではこのような講習会の開催を検討しております。ひとりでも多くの県内指導者の参加をお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。



最後に下記の方々が終了されました。スカウトの技能章考査の際には、声を掛けてみてください。

(敬称略・順不同)

《東部地区》

寺門 久、田中勝美、杉本万里子
篠崎信二、鈴木栄治、和良品文之丞
酒井綾子

《西部地区》

福田睦夫、岡田篤志、西村光幸
高村由美子

《北部地区》

東原勇二、石川秀忠

《南部地区》

高尾 一

南部地区スカウトラリー

12月7日 佐野唐沢山において南部地区スカウトラリーが開催されました。

当日は心配された天気も うそのように晴れ、遅れ気味の紅葉が色鮮やかな絶好のラリー日和となりました。参加スカウト15班69名は午前10時にスタートし、8箇所のワークステーションにチャレンジ、各ステーションでもらったヒントカードをもとにゴール地点を目指しました。

では、各ステーションの様子をのぞいてみましょう。

①簡易測量 (足利5団, 1団担当)

一定の区間を歩測ではかり誤差10%以内に挑戦。歩測となると大まかで歩いてしまったり若干の坂道のため登りと下りで歩幅が変化し結構むずかしそうでした。

②食物 (足利7団担当)

紙袋を使った卵料理にチャレンジ。「本当に紙袋を火にかけて大丈夫なの？」と半信半疑でしたが、おいしい卵料理にビックリ！

③環境 (佐野4団担当)

キャンプ場で出たごみの分別に挑戦。ふだん家庭でお手伝いをしているスカウトの独壇場でした。

④観察 (安蘇2団担当)

キムスゲームにチャレンジ。班員みんなで手分けして覚えればもっとたくさんおぼえられるよね！

⑤クラフト (栃木1団担当)

自慢のナイフで竹とんぼ作りに挑戦。ちゃんと飛ぶようにつくれたかな？ここでずいぶん時間をロスした班も多かったようです。

⑥救急法 (小山3団担当)

毛布や衣類を使った応急担架つくりチャレンジ。衣類のほうが作りやすかったようですが、毛布でもできるようにしておきましょう。

⑦結策法 (小山4団担当)

基本的なロープ結びですが、いざやってみると意外に忘れていきますね。日頃から練習あるのみ。

⑧火おこし (小山5団担当)

マッチ2本で火おこしに挑戦。年々直火で炊事をするのが少なくなりましたが、みんなうまくできたようです。強風の中ご苦労様でした。

以上8箇所をめぐり、結果は

1位	足利1団	バッファロー班	2時間29分
2位	佐野4団	ハヤブサ班	2時間39分
3位	栃木1団	ワシ班	2時間40分 でした。



日頃、顔を合わせる事の少ない地区内のスカウトの交流の場として、また来年も開催したいと思います。

南部地区プログラム委員長
高村 徹

団担当コミッショナー説明会

団担当コミッショナーの設置については、先号の「男体」において御案内させていただきましたが、栃木県連盟としての設置時期やその方法等については、12月21日に説明会が開催され、その役割についての詳細な説明と、当面の対応方針が示されました。

団担当コミッショナーは、団を支援する役割を担い、団運営の活性化と質の向上を促すための活躍が期待されています。

栃木県連盟としては、平成16年4月を目途に各地区に設置することを予定しておりますが、その機能の重要性を鑑みた場合、短期間でその役割を果たしうる人材を確保することが容易でないことから、当面は地区コミッショナーがこれを兼務することとしました。

県内の設置手続きが円滑に行われるよう、4月までに課題等の整理や必要な事務手続きを進めていく予定です。

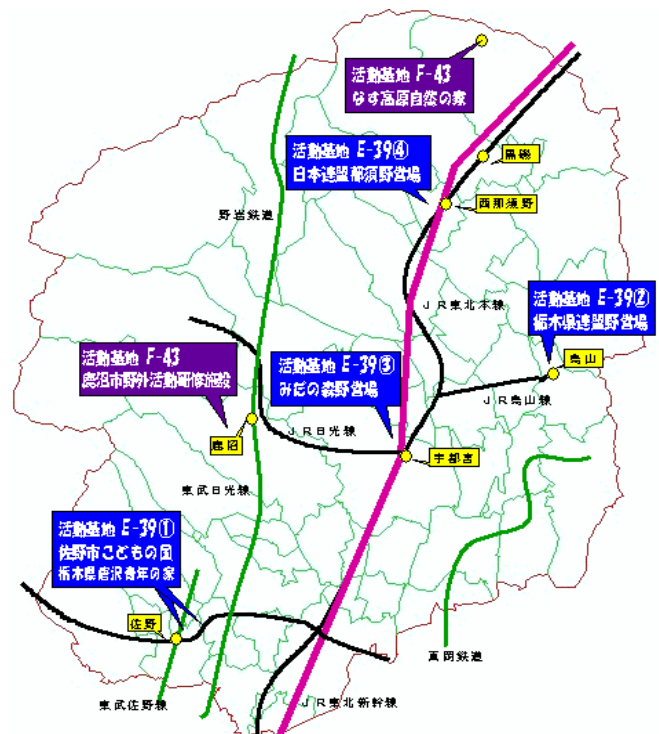
6NV（日本ベンチャー大会） 栃木県の基地情報

平成16年8月に関東地区各地に於いて開催される、第6回日本ベンチャー大会の、栃木県内の活動基地を紹介します。

まず、E群39「冒険広場が町にやってくる」は、県内4つの会場で参加ベンチャースカウトがロープワーク等の技能を使い手製のアスレチック施設を作り、地域の子どもたちに遊んでもらうというものです。

また、F群43「おくの細道ロマンの旅」は、俳聖 松尾芭蕉が旅をした「おくの細道」の跡を偲んで、江戸を出発してから「旅こころ定まりぬ」といわれた福島県白河の関までのうち栃木県内のコースを8つに分け、歩いていくというものです。

現在、全国から多くのベンチャースカウトを迎えるために、それぞれの基地ごとに準備を進めています。



南部地区指導者講習会を開催



平成15年11月30日（日）佐野市中央公民館3階和室におきまして、平成15年度南部地区指導者講習会が池沢美昭主任講師のもとで、実施いたしました。

参加者は、11名スタッフ5名合計16名でした。今回の和室での講習会は寺子屋を思わせる趣で、参加者のみなさまには有意義な研修会であったと思います。

南部地区開発委員長 売野勝己

団G-man

スカウティングは楽しくなきゃ、でも愉しさの中にもキラリ

安蘇第2団

*誕生の章

昭和39年に葛生小学校の旧図書館を本部として、誕生しました。その頃の活動場所は、葛生小学校、嘉多山公園などで野営をしたりしていました。現在のほとんどの団委員長さん達は2期生です。

*成長の章

葛生小学校が改築されるとともに、本部が葛生町の万福寺に移され、梅ノ木野営場をスカウト、育成会の手で開拓し、スカウト広場も設備されました。曹洞宗スカウト協議会にも加入し、団員150名にも達した時期もあり、富士章取得者数名、海外派遣にも多くのスカウトを送りだしました。



*現在の章

小子化、それだけの問題ではないと思いますが、現在ではスカウト数70名程ですがビーバーからベンチャーまで、豊かな自然の中で楽しく、時には厳しく「スカウト家族」として、「み仏とともに心の教育」を前面にだし、活動を続けています。ベンチャースカウトにおいては全員が宗教章を取得している。又、団独自のホームページを開設し、指導者間の連絡、育成会員への活動報告の場としている。ぜひ「安蘇第2団」と検索してみてください。

*未来の章

一寸先は闇といわれる現在社会の中、スカウティングだけは、一寸先は光（希望）をであってほしい。指導者、団委員長も含め、全員一丸となって子供達の為にスカウティングを続けていきたいと頑張っています。

団委員長 大川則道



自然が教場 小山第3団

1970年4月に小山ロータリークラブの創立10周年記念事業として発団したのが、小山第3団です。現在、ビーバー6名カブ10名ボーイ3名ベンチャー11名ローバー9名で活動しています。我が団の自慢をご披露いたします。

1. ビーバー、カブの募金活動

毎年恒例の歳末助け合い募金活動ですが、スカウト全員がひとり20羽の折り鶴を作り、募金してくれた人にプレゼントしています。とても好評です。

2. 山が大好き

登山経験の豊富なリーダーに恵まれ、各地の山に登っています。特に富士山は荒川隊長（故人）が富士浅間神社の神主だった関係で4年に一度くらいチャレンジしています。



3. 島が大好き

ベンチャー隊は伊豆七島、佐渡、南は沖縄と各地の島へ遠征キャンプに出かけています。特に、伊豆大島はボーイ隊も参加し、大島の常連になっています。

4. 小地区で仲がよい

これは我が団だけの自慢ではありませんが、小山3団、4団、5団は仲がよく、合同でBP祭やカントリー大作戦などを行っています。こんな魅力のある団ですが、やはりスカウトの減少が悩みの種です。

今後は、ビーバースカウトの養成に力を注いで、またいつか団員みんなで富士山山頂に立ちたいと考えています。



高村 徹

事務局の動き

平成15年

- | | |
|------------|------------------|
| 11月 1日 (土) | 理事会 |
| 11月 7日 (金) | とちぎ教育の日 |
| 11月 9日 (日) | ワクワク夢体験の船実行委員会 |
| 11月15日 (土) | 技能章考査員養成講習会 |
| ～16日 (日) | 野営章 (鳥山C. C. C.) |
| 11月22日 (土) | 全国事務局長会議 |
| ～23日 (日) | |
| 11月30日 (日) | 南部地区指導者講習会 |
| 12月 3日 (水) | 開発委員会 |
| 12月 6日 (土) | 各種運営委員長会議 |
| 12月14日 (日) | 6 NV 基地部会 |
| 12月18日 (木) | プログラム委員会 |
| 12月21日 (日) | 団担当コミッショナー説明会 |
| 12月22日 (月) | 組織委員会 |
| 12月25日 (木) | 6 NV 会議 |



今後の予定

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1月10日 (土) | 団役員・指導者研修会 |
| ～11日 (日) | 湯津上村 湯けむりふれあいの丘 |
| 1月11日 (日) | 理事会 |
| 1月18日 (日) | スカウトソング研修会 |
| | 佐野市中央公民館 |
| 2月 7日 (土) | 各種運営委員長会議 |
| 2月 8日 (日) | 登録事務説明会 |
| 2月23日 (月) | 組織委員会 |
| 2月29日 (日) | 開発委員会 |
| 2月29日 (日) | 自然体験活動指導者登録講習会 |



発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043
栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号
電話 028(621)9800
Fax 028(621)9800
Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。

ホームページもぜひ見てください。
[Http://ex.as.lancenet.or.jp/bstotigi/](http://ex.as.lancenet.or.jp/bstotigi/)